

分子研オープンキャンパス2025（大学院説明会・短期インターンシップ説明会）

担当教員 2025年度担当教員

総合研究大学院大学 先端学術院 分子科学コース 准教授 杉本 敏樹

2025年6月14日（土）に、オンライン形式にて分子研オープンキャンパスを開催しました。周知方法としては、各研究教育機関へのポスター送付、専用HP (<https://www.ims.ac.jp/sokendai/>)、分子研X (旧twitter)、YouTubeショート動画 (<https://www.youtube.com/@bunshiken/shorts>) などを通じて、広報活動を2ヶ月程度行いました。日本全国から50数名の大学生・大学院生の参加がありました。

午前の部は、岡崎カンファレンスセンターの大隅ホールにて9時50分から開催されました。所長と大学院委員長による分子研・総研大の概要説明の後、大学院入試の説明、及び参加者からの質問回答の時間が設けられました。ラボ紹介PRセッションでは、約10の研究室の教員から、分子研で行われている最先端の研究取り組み内容の紹介がありました。難しい内容も一部含まれていました

が、多くの参加学生さんが熱心に聴講している様子が大変印象的でした。その後、総研大現役大学院生3名によるキャンパスライフトークと質問回答セッションがあり、分子研でどのように研究活動を行っているのか、岡崎でどのように過ごしているのか等についての紹介がありました。

お昼休憩時間は、新しくなっている職員会館の1階のオープンスペースで約1時間のランチ交流会を実施しました。参加学生・分子研教員には、ランチボックスと飲み物が配られました。和気藹藹とした雰囲気の中で、様々な出身大学の学生さんと分子研の教員・大学院生の間で交流が活発にすすみ、あっという間に時間が過ぎました。今回のランチ交流会では、会場に掲載していた研究室紹介のポスターでの議論も白熱していたことが印象的でした。

午後の部では、明大寺キャンパス及び山手キャンパスのラボツアーが

行われました。オフィスでの研究室紹介や実験室での研究室紹介を中心として、様々な形態でラボツアーが実施されました。今年は、参加学生さんに研究室訪問の時間帯をずらしてもらいなどのお願いをしていたこともあり、訪問学生さんの一極集中による混乱をある程度避けられ、訪問学生さんにもより充実した研究室見学を行っていただいたのではないかと思います。

次回開催に向けてさらに改善できる余地はありそうですが、以上のように、参加された先生方や大学院生、運営スタッフの方々のご協力により充実したオープンキャンパスを開催することができました。特に、永園さん、太刀川さん、原田さんをはじめとする戦略室の方々、技術推進部の内山さんには事前の準備から当日の会場運営を手厚くサポートいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



E V E N T R E P O R T

総研大アジア冬の学校 2024

担当教員 2024年度担当教員

総合研究大学院大学 先端学術院 分子科学コース 准教授 奥村 久士

2024年度の総研大アジア冬の学校が2025年1月20日（月）に岡崎コンファレンスセンター小会議室において開催されました。アジア冬の学校は、研究・教育活動をアジア諸国の大学院生及び若手研究者の育成に広く供するために2004年度に始まりました。毎年アジア全域から参加者を募り開催されています。今年度はインターンシップ生5名、総研大生7名、外部大学学生11名、教員8名（外部講師3名＋分子研教員5名）の合計31名で実施されました。今年度はシンガポール・南洋理工大学のLecturer, Zhengyang Zhang先生、タイ・カセサート大学

の准教授、Prapasiri Pongprayoon先生、マレーシア・マラヤ大学のSenior Lecturer, Muhammad Faisal Bin Khyasudeen先生にお越しいただき講義していただきました。また、若手参加者によるフラッシュトークおよびポスター発表が22件行われました。講義やポスター発表、休憩時間においても活発な議論が行われ、インターンシップ生や総研大生、参加者にとって有意義な国際交流の場になったと

思います。特に総研大生が外国人学生と頑張って英語で意思疎通しようとしていた姿が印象的でした。本事業にご協力いただきました関係者の皆様にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。



第2回岡崎3機関学生交流会を振り返って

構造分子科学専攻5年一貫制博士課程4年 吉田 瑠

2025年4月25日、岡崎カンファレンスセンターにて「第2回岡崎3機関学生交流会」を開催いたしました。本交流会は、岡崎に拠点を置く3つの研究機関（分子科学研究所・生理学研究所・基礎生物学研究所）に所属する総研大生およびインターンシップ生同士の親睦を深めることを目的としたイベントで、ポスター発表と懇親会を組み合わせた形式で行われました。昨年度の第1回開催時よりも参加者が増え、今年度は学生・教員・職員を合わせて約90名の方々にご参加いただき、大変盛況な会となりました。研究紹介は約20件にのぼり、活発な意見交換も行われました。

今年度の運営は田熊さん（生理研）、高原さん（分子研・杉本グループ）が中心に会の準備を進められ、私はサポート役として運営に携わりました。昨年度に続き永園さん（分子研）、太刀川さん（分子研）、本多さん（生理研）にも運営面で多大なご協力をいただきました。さらに、多くの教員の皆さまから予算面でのご支援やお酒の差し入れを賜り、運営一同、大変助かりました。懇親会が和やかかつ充実した時間となったのも、皆さまのお力添えのおかげです。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

来年度も、3機関の学生が学年や分野を超えて交流できる機会を継続して企画してまいります。教員・学生・職員を問わず、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。今後ともご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。